

日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

< 調査票（前半） >

- 就学前児童
- 小学生
- 子育て関連事業者・団体
- 企業
- 小学生本人

日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【ご協力のお願ひ】

皆様には、日頃より日野市政にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

平成27年3月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

日野市では、子ども・子育て支援新制度開始に伴う事業計画として、子育てしたいまち しやすいまち日野を目指した「新！ひのっ子すくすくプラン（子ども・子育て支援事業計画）」（平成27～31年）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため、本調査を行います。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この調査を実施するにあたっては、住民基本台帳の中から就学前のお子さん1,600人を無作為で抽出し、送付をさせていただいております。**ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用**させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年●月

日野市長 大坪 冬彦

【回答にあたってのお願い】

1. 特にことわり書きのある場合以外については、あて名のお子さんについてお答えください。
2. アンケートは、**お子さんの保護者の方がお答えください。**
3. ご回答は、**選択肢に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。また、○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印等に従ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。**

提出（投函）期限：平成30年●月●日（●）

<お問合せ先>

日野市子ども部子育て課

電話 042-514-8579（直通）

042-585-1111（代表）

担当 眞砂（内線 2517）・木暮（内線 2512）

事業一覧

- ママ・パパクラス（両親学級）**：不安を少しでも解消し、安心して妊娠・出産を迎えられるような教室を、妊婦さんとその家族を対象に開催しています。
- 家庭教育に関する学習講座**：家庭教育の充実や保護者の教育力向上を図るため、家庭教育学級や生涯学習課による講演会などです。
- 就学相談・就園相談**：発達の状態や特性の種類・程度を考慮しながら、お子様に適した学校・学級等がどこであるかの相談を行っています。
- 保育所や幼稚園の園庭等の開放**：園庭を定期的に開放し、子育て家庭が安心・安全に外遊びができる場所を提供する事業です。
- 児童館**：地域の0歳から18歳までの子どもたちと、その保護者が気軽に集える場所です。子どもたちを心身ともに健やかに育成することを目的とし、家庭・地域・学校との連携を大切にしながら、子育て・子育て支援を行っています。
- ファミリー・サポート・センター**：手助けが必要な方（依頼会員）と、手助けができる方（提供会員）が、困ったときはお互い様の気持ちで「助け合う」有償ボランティアの会員組織です。
- 子ども家庭総合相談（子ども家庭支援センター）**：子育ての疑問や質問、悩みや不安などの相談を電話や面談でお受けしています。
- 子育てサークル**：子どもとその保護者が定期的集まって、一緒に遊びながら友達作りをしたり、情報交換をしたりして、子育てについて学び、悩みを相談しながら「子育てを共にしていこう！」とするサークル活動です。
- 子育てひろば事業**：乳幼児とその保護者の方が立ち寄り、遊んだり、相談したり、情報を得たりできる場を提供しています。保育園や児童館でも行っています。
- ひのっこの子育て・子育て「知っ得ハンドブック」**：日野市で安心して楽しみながら子育てするために、日野市の子育て情報を集約し、一冊の本にまとめたものです。
- 子育て情報サイト「ぼけっとなび」**：市の子育て支援策や子育てに役立つ情報を、子育て中または今後子育てを始める世帯に伝えるための「子育て情報」に特化したサイトです。
- 病児・病後児保育事業**：病气中や病気の回復期にある0歳から10歳未満の子どもで、仕事や冠婚葬祭などの理由により、家庭での保育が困難な場合に、一時的に保育いたします。
- ショートステイ事業**：家庭における児童の養育がさまざまな事情で養育困難になった場合に、お子さんを一時的に宿泊を伴って預かる事業です。
- トワイライトステイ事業**：ご家族の入院、勤務での残業、地域活動や学習活動への参加などの事情で、一時的に夜間の保育ができないときにお子さんをお預かりする事業です。
- 一時保育事業**：ご家族の入院通院介護、育児疲れ解消、パート、通院などさまざまな事情で一時的に保育ができないとき、お子さんをお預かりし、保護者の方の育児の負担を軽減する事業です。
- 休日保育事業**：休日に、就労等によりお子様の保育が出来ない場合に、保育園で、お子様をお預かりして保育をする制度です。
- 夜間保育事業**：保護者が仕事などの理由で夜間に家庭での保育ができない場合に保育を実施する事業。
- 認証保育所**：東京都の認証を受けた保育施設です。
- 学童クラブ**：保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする事業です。
- 放課後子ども教室事業「ひのっち」**：日野市内の全小学生を対象に、給食のある平日の放課後、市内小学校17校の教室、校庭、体育館などを活動場所として、放課後の子どもたちの居場所づくりを、地域の方々の協力を得て実施する市の事業です。
- プレーパーク**：子どもたちが自己責任のもと、自然の中で思いっきり遊び、自然の素材や道具などを使いながら、思いのままに自分たちで遊びを生み出し、いきいきと“子どもの時間”を過ごせる場です。

I 地域における子育て支援について

I - 1 子育て環境や子育て支援の現状についてお伺いします。

問1 あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。 (あてはまるもの1つに○)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他 ()
5. わからない

問2 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 病気に関すること
2. 発育・発達に関すること
3. 食事や栄養に関すること
4. 育児の方法がよくわからないこと
5. しつけのし方がわからないこと
6. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
7. 子どもと触れあう時間を十分に取れないこと
8. 話し相手や相談相手がいないこと
9. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
10. 子どもの教育に関すること
11. 子どもの友達づきあい(いじめなどを含む)に関すること
12. 登園拒否などの問題について
13. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
14. 子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと
15. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等周囲の目が気になること
16. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
17. 子どもを叱りすぎているような気がする
18. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
19. 地域の子育て支援事業の内容や利用方法がよくわからないこと
20. 子どもと安心して遊びに行ける場が少ない
21. 子どもだけで安心して遊べる場が少ない
22. 子育て仲間と出会える場が少ない
23. 子どもの気持ちがくみ取れない、わからないこと
24. 子どもに対する性教育に関すること
25. その他 ()
26. 特に悩んでいることはない

問3 あなたは、子育てに関する以下の相談窓口を知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 子ども家庭支援センター | 6. 児童館 |
| 2. 保健センター(健康課) | 7. 公立保育園の子育て相談 |
| 3. 子育てひろば | 8. その他 () |
| 4. みんなのはらっぱ | 9. どれも知らない |
| 5. 駅前ミニ子育て応援施設「モグモグ」 | |

問4 相談窓口を利用するために必要な条件は何ですか。 **(あてはまるものすべてに○)**

1. 駐車場があること
2. 相談内容に応じた専門員が配置されていること
3. 相談する際に、誰にも聞かれないようにしてあること
4. 相談したことが誰にも知られないようにすること
5. 相談の間、子どもを預かってもらえること
6. 相談できる日、時間が選べること
7. 相談する場所が近くにあること
8. 予約を必要としないこと
9. その他 ()
10. 特になし、わからない

問5 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 危ないことをしているとき
2. 生き物をいじめたとき
3. うそをついたとき
4. 返事やあいさつをきちんとしないとき
5. 友達をたたいたり、意地悪をしたとき
6. 悪さやいたずらをしたとき
7. 後片付けをしないとき
8. 言葉遣いが悪いとき
9. 公共の場で迷惑をかけるとき
10. 親の言うことを聞かないとき
11. 指しゃぶりをしたとき
12. 排泄がきちんとできないとき
13. その他 ()

問6 子どもに対して、思わずたたいたり、子どもの心を傷つけてしまうような言動をしたり、子どもの相手や世話をしないことがありますか。 **(あてはまるもの1つに○)**

1. よくある
2. たまにある
3. したいと思うことはよくあるが、行動には移さない
4. ほとんどない
5. まったくない

I - 2 子育て環境についてお伺いします。

問7 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる | ⇒ 問8へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる | ⇒ 問8へ |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒ 問9へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒ 問9へ |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問8 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問9 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にお伺いします。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他 ()

問10 子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. いる/ある ⇒ 問11へ | 2. いない/ない ⇒ 問12へ |
|-----------------|------------------|

問11 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にお伺いします。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 9. 幼稚園教諭 |
| 2. 友人や知人 | 10. 民生委員・児童委員 |
| 3. 近所の人 | 11. かかりつけの医師 |
| 4. 子育てひろば | 12. インターネット等(SNS等) |
| 5. 保健センター(健康課)・保健所 | 13. 子育てサークル |
| 6. 児童館 | 14. その他 |
| 7. 子育てに関する民間団体(NPO等) | () |
| 8. 保育士 | |

I - 3 地域での子育て状況についてお伺いします。

問12 地域に親子でつきあえる知人または友人などがいますか。 (2つまで○)

1. 家族同様につきあっている人がいる
2. 必要なときに、子どもを預けられる人がいる
3. レジャー等を楽しむことのできる人がいる
4. 気軽におしゃべりできる人がいる
5. 日常的にあいさつできる人がいる
6. 地域に親子でつきあえるような人などはいない

問13 あなたは、地域の人から見守られていると感じますか。 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. とても見守られている | 4. どちらかと言えば見守られていない |
| 2. どちらかと言えば見守られている | 5. まったく見守られていない |
| 3. どちらとも言えない | 6. よくわからない |

問14 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 強く感じる | 4. 全く感じない |
| 2. やや感じる | 5. わからない |
| 3. あまり感じない | |

問15 問14で「1. 強く感じる」、「2. やや感じる」に○をつけた方にお伺いします。

孤立感を和らげるためにどんなことが地域で必要ですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 家事・育児のサポート
2. 本音で子育てについて話ができる人
3. 相談できる専門家・経験者
4. 子育て以外で活動できる場
5. 同じ立場の親の会
6. 時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場
7. 保育付きの実習や勉強の場
8. 子育て仲間と気軽に集える場 (屋内)
9. 地域全体で子育てへの理解を深めるような働きかけ
10. 地域全体で障がい児等への理解を深める働きかけ
11. その他 ()
12. 特に必要ない

問16 地域の人にちょっと頼まれた場合に、私にもできると思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. ちょっとした買い物 | 7. 話し相手 |
| 2. 子育ての相談 | 8. 近所のグループづくり |
| 3. 短時間の子どもの預かり | 9. その他 |
| 4. 保育所の送迎 | () |
| 5. 食事づくり | 10. わからない |
| 6. 宿題をみる | 11. 特にない |

Ⅱ 保育基盤づくりについて（保育サービス以外）

Ⅱ - 1 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問17 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を伺います。

(1) 母親【父子家庭の場合は記載不要】 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことはない | } ⇒ 問19へ |
|---|----------|

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

→ (1) -1 問17(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間含む)」を()内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(1) -2 問17(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。

家を出る時間と帰宅時間を()内にお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要】 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--|----------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | } ⇒ 問19へ |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| 6. これまでに就労したことはない | |

→(2) -1 問17 (2) で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。

1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間含む)」を()内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(2) -2 問17 (2) で「1. ～4. 」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。

家を出る時間と帰宅時間を()内にお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンでお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時

Ⅱ - 2 育児休業や短時間勤務制度など 仕事と子育ての両立支援制度についてお伺いします。

問20 あて名のお子さんが生まれた時、母親又は父親もしくは双方が育児休業制度
を取得しましたか。 **(母親)**と**(父親)**それぞれについてお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

また、「3. 取得していない」に○をつけた方は、その理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (あてはまるものすべて)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (あてはまるものすべて)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に復帰するのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所 (園) などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した 15. その他 () |
|--|

問21 問20で「2. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にお伺いします。

⇒該当しない方は問27へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。 **(あてはまるもの1つに○)**

(1) 母親

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した |
|---|

(2) 父親

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した |
|---|

問22 問21で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいは、それ以外でしたか。 (あてはまるもの1つに○)

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

(2) 父親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

問23 問21で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。

育児休業からは、「実際」に職場復帰したのはお子さんが何歳何ヵ月の時でしたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。 () 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヵ月	希望 () 歳 () ヵ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヵ月	希望 () 歳 () ヵ月
----------------------	-----------------

問24 問21で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にお伺いします。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。

() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () ヵ月

(2) 父親

() 歳 () ヵ月

問25 問23で実際の復帰と希望の復帰が異なる方にお伺いします。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお伺いします。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

①母親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまるものすべてに○)

①母親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

②父親

1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()

問26 0～2歳期における子育てに対する考えを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 育児休業制度が整っていれば、在宅で子育てしたい
2. 一時預かりなど不規則な保育サービスを利用できれば、在宅で子育てしたい
3. すぐに就労したいので保育サービスを利用したい
4. その他 ()

Ⅲ 保育サービスについて

Ⅲ - 1 保育サービスの利用状況についてお伺いします。

問27 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況についてお伺いします。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問28に示す事業が含まれます。

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。 (あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|--------|
| 1. 利用している | ⇒ 問28へ |
| 2. 利用していない | ⇒ 問31へ |

※問28から問30は、問27で「1.利用している」に○をつけた方にお伺いします。

問28 問27で「1. 利用している」に○をつけた方にお伺いします。

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） |
| 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） |
| 6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ） |
| 7. 事業所内保育施設・企業主導型保育事業（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| 9. その他認可外の保育施設 |
| 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| 11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） |
| 12. その他（ ） |

問29 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、()内に具体的な数字でお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

(1) 現在

1週あたり ()日	1日あたり ()時間	()時から ()時
------------	-------------	-------------

(2) 希望

1週あたり ()日	1日あたり ()時間	()時から ()時
------------	-------------	-------------

問30 現在、利用されている教育・保育の事業の実施場所についてお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 居住している市区町村内 | 2. 他の市区町村 |
|----------------|-----------|

問31 問27で「2.利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

利用していない主な理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため。(____歳くらいになったら預けようと考えている)
9. その他()

問32 問28で「1. 幼稚園(通常就園時間の利用)」「2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」に○をつけた方にお伺いします。

幼稚園を利用する理由・条件を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 園の方針と家庭の方針が一致している | 5. 送迎バスや給食が充実している |
| 2. 他に無い特色ある教育を行っている | 6. 保育所に入れなかった |
| 3. 預かり保育が安価に利用できる | 7. その他() |
| 4. 自宅から近い | |

問33 すべての方に伺います。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(例) 認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園(通常就園時間の利用)
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)
4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)
6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業 ※保育ママ)
7. 事業所内保育施設・企業主導型保育事業(企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
12. その他()

問34 教育・保育の事業を利用したい場所についてお答えください。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 居住している市区町村内 | 2. 他の市区町村 |
|----------------|-----------|

問35 問33で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」「2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」に○をつけ、かつ 3～12にも○をつけた方にお伺いします。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまるもの1つに○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問36 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問26で「1. 利用している」に○をつけた方）にお伺いします。

⇒利用していらっしゃらない方は 問57へ

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（あてはまるもの1つに○）

1. あった ⇒ 問37へ	2. なかった ⇒ 問41へ
---------------	----------------

問37 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 父親が休んだ	()日
	イ. 母親が休んだ	()日
	ウ. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	()日
	エ. 就労していない保護者がみた	()日
	オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	()日
	カ. ベビーシッターを頼んだ	()日
	キ. ファミリー・サポート・センターにお願いした	()日
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
	ケ. その他 ()	()日
2. なかった ⇒ 問41へ		

問38 問37で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。（あてはまるもの1つに○）
また、「1.」に○をつけた方は、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日
2. 利用したいとは思わない

⇒ 問40へ（ク.に○をつけた方は問39もお答えください。）

問39 問37で「ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」に○をつけた方に伺います。ショートステイの利用意向はありますか。（あてはまるもの1つに○）
また、「1.」に○をつけた方は、日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1. 利用したい ⇒ ()日
2. 利用する必要はない

問40 問37で「ウ、～ケ。」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(あてはまるもの1つに○)

また、「1。」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問41 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

また、○をつけた各項目に、日数も()内に数字でご記入ください。

なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用している事業・日数(年間)	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	⇒ () 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	⇒ () 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	⇒ () 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で夕方から夜間まで、子どもを預かる事業)	⇒ () 日
5. ベビーシッター (地域住民が子どもを預かる事業)	⇒ () 日
6. その他()	
7. 利用していない	⇒ 問43へ

問42 問41で「1.～6.」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。

あて名のお子さんについて、私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

また、○をつけた各項目に、日数も()内に数字でご記入ください。なお、これらの「保育サービス」の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい	計()日
ア. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	()日
イ. 冠婚葬祭、子どもの親の通院	()日
ウ. 不定期の就労	()日
エ. その他()	()日
2. 利用する必要はない ⇒ 問43へ	

問43 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	対処方法	1年間の日数
1. あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業）	（ ）泊
	ウ. 上記「イ.」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
	2. なかった	

問44 問43で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にお伺いします。 ⇒「ア.」以外に○をつけた方は 問45へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。 （あてはまるもの1つに○）

- | |
|--|
| <p>1. 非常に困難</p> <p>2. どちらかという困難</p> <p>3. 特に困難ではない</p> |
|--|

問45 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、地域子ども家庭支援センター、保育園、児童館などで開設され、「子育てひろば」と呼ばれています）を利用していますか。

（あてはまるものすべてに○）

また、「1. 2.」に○をつけた方は、おおよその数字（頻度）もご記入ください。

- | |
|--|
| <p>1. 地域子育て支援拠点事業</p> <p>1週あたり（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり（ ）回 程度</p> <p>2. その他（ ）</p> <p>1週あたり（ ）回 もしくは 1ヵ月あたり（ ）回 程度</p> <p>3. 利用していない</p> |
|--|

問46 問45のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

(あてはまるもの1つに○)

また、「1. 2.」に○をつけた方は、おおよその数字(頻度)もご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 利用していないが、今後利用したい
1週あたり ()回 もしくは 1ヵ月あたり ()回 程度 |
| 2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい
1週あたり 更に()回 もしくは 1ヵ月あたり 更に()回 程度 |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない |

問47 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A~Cすべてについて「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

事業の種類	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
1 ママ・パパクラス(両親学級)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
2 家庭教育に関する学習講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
3 就学相談・就園相談	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
4 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
5 児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
6 ファミリー・サポート・センター (会員制による住民の一時預かりを中心とした相互援助活動)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
7 子ども家庭総合相談 (子ども家庭支援センター)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
8 子育てサークル	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
9 子育てひろば事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
10 ひのっ子の子育て・子育て 「知っ得ハンドブック」	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
11 子育て情報サイト 「ぽけっとなび」	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
12 病児・病後児保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
13 ショートステイ事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
14 トワイライトステイ事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
15 一時保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

事業の種類		A		B		C	
		知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
16	休日保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
17	夜間保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
18	認証保育所	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
19	学童クラブ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
20	放課後子ども教室事業「ひのつち」	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
21	プレーパーク	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

問48 普段どのような場所に遊びに行っていますか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 公園 | 6. 広場・空き地 |
| 2. スポーツ・文化施設 | 7. 川、用水路など自然に触れられる場所 |
| 3. 子育てひろば | 8. 親族・友達の家 |
| 4. 児童館等の公共施設 | 9. その他 () |
| 5. 民間デパート等 | |

問49 どのような遊び場が欲しいですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 遊具がある所 | 5. アトラクションがある所 |
| 2. 広い場所がある所 | 6. 自由に使える、無料の施設 |
| 3. 自然がある所 | 7. 文化的な施設 |
| 4. スポーツができる所 | 8. その他 () |

IV ご家族の状況について

IV 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問50 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問51 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 母親と父親 |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. その他（ ） |

問52 この調査票に回答いただいている方の配偶関係について伺います。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問53 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 主に母親 | 2. 主に父親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他（ ） |
|---------|---------|----------|-----------|

問54 あなたはどの小学校の学区域にお住まいですか。(1つに○)

※該当する学校がわからない場合は、別添の表を参考にしてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 日野第一小学校 | 7. 潤徳小学校 | 13. 旭が丘小学校 |
| 2. 豊田小学校 | 8. 平山小学校 | 14. 東光寺小学校 |
| 3. 日野第三小学校 | 9. 日野第八小学校 | 15. 仲田小学校 |
| 4. 日野第四小学校 | 10. 滝合小学校 | 16. 夢が丘小学校 |
| 5. 日野第五小学校 | 11. 日野第七小学校 | 17. 七生緑小学校 |
| 6. 日野第六小学校 | 12. 南平小学校 | |

問55 あなたは、あて名のお子さんやきょうだいに対して、学校以外の教育(学習塾や習い事)に、1月当たりどのくらい費用を使っていますか。

()内に具体的な数字でお答えください。

あて名のお子さん	()円
あて名のお子さんを含む、子ども全員	()人()円

問56 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。

()内に具体的な数字でお答えください。

()時間

日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【ご協力のお願ひ】

皆様には、日頃より日野市政にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

平成27年3月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

日野市では、子ども・子育て支援新制度開始に伴う事業計画として、子育てしたいまち しやすいまち日野を目指した「新！ひのっ子すくすくプラン（子ども・子育て支援事業計画）」（平成27～31年）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため、本調査を行います。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この調査を実施するにあたっては、住民基本台帳の中から小学生のお子さん1,200人を無作為で抽出し、送付をさせていただいております。**ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用**させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年●月

日野市長 大坪 冬彦

【回答にあたってのお願い】

1. 特にことわり書きのある場合以外については、あて名のお子さんについてお答えください。
2. アンケートは、**お子さんの保護者の方がお答えください。**
3. ご回答は、**選択肢に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。また、○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印等に従ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。**

提出（投函）期限：平成30年●月●日（●）

<お問合せ先>

日野市子ども部子育て課

電話 042-514-8579（直通）

042-585-1111（代表）

担当 眞砂（内線 2517）・木暮（内線 2512）

事業一覧

- ママ・パパクラス（両親学級）**：不安を少しでも解消し、安心して妊娠・出産を迎えられるような教室を、妊婦さんとその家族を対象に開催しています。
- 家庭教育に関する学習講座**：家庭教育の充実や保護者の教育力向上を図るため、家庭教育学級や生涯学習課による講演会などです。
- 就学相談・就園相談**：発達の状態や特性の種類・程度を考慮しながら、お子様に適した学校・学級等がどこであるかの相談を行っています。
- 保育所や幼稚園の園庭等の開放**：園庭を定期的に開放し、子育て家庭が安心・安全に外遊びができる場所を提供する事業です。
- 児童館**：地域の0歳から18歳までの子どもたちと、その保護者が気軽に集える場所です。子どもたちを心身ともに健やかに育成することを目的とし、家庭・地域・学校との連携を大切にしながら、子育て・子育て支援を行っています。
- ファミリー・サポート・センター**：手助けが必要な方（依頼会員）と、手助けができる方（提供会員）が、困ったときはお互い様の気持ちで「助け合う」有償ボランティアの会員組織です。
- 子ども家庭総合相談（子ども家庭支援センター）**：子育ての疑問や質問、悩みや不安などの相談を電話や面談でお受けしています。
- 子育てサークル**：子どもとその保護者が定期的集まって、一緒に遊びながら友達作りをしたり、情報交換をしたりして、子育てについて学び、悩みを相談しながら「子育てを共にしていこう！」とするサークル活動です。
- 子育てひろば事業**：乳幼児とその保護者の方が立ち寄り、遊んだり、相談したり、情報を得たりできる場を提供しています。保育園や児童館でも行っています。
- ひのっ子の子育て・子育て「知っ得ハンドブック」**：日野市で安心して楽しみながら子育てするために、日野市の子育て情報を集約し、一冊の本にまとめたものです。
- 子育て情報サイト「ぼけっとなび」**：市の子育て支援策や子育てに役立つ情報を、子育て中または今後子育てを始める世帯に伝えるための「子育て情報」に特化したサイトです。
- 病児・病後児保育事業**：病气中や病気の回復期にある0歳から10歳未満の子どもで、仕事や冠婚葬祭などの理由により、家庭での保育が困難な場合に、一時的に保育いたします。
- ショートステイ事業**：家庭における児童の養育がさまざまな事情で養育困難になった場合に、お子さんを一時的に宿泊を伴って預かる事業です。
- トワイライトステイ事業**：ご家族の入院、勤務での残業、地域活動や学習活動への参加などの事情で、一時的に夜間の保育ができないときにお子さんをお預かりする事業です。
- 一時保育事業**：ご家族の入院通院介護、育児疲れ解消、パート、通院などさまざまな事情で一時的に保育ができないとき、お子さんをお預かりし、保護者の方の育児の負担を軽減する事業です。
- 休日保育事業**：休日に、就労等によりお子様の保育が出来ない場合に、保育園で、お子様をお預かりして保育をする制度です。
- 夜間保育事業**：保護者が仕事などの理由で夜間に家庭での保育ができない場合に保育を実施する事業。
- 認証保育所**：東京都の認証を受けた保育施設です。
- 学童クラブ**：保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的とする事業です。
- 放課後子ども教室事業「ひのっち」**：日野市内の全小学生を対象に、給食のある平日の放課後、市内小学校17校の教室、校庭、体育館などを活動場所として、放課後の子どもたちの居場所づくりを、地域の方々の協力を得て実施する市の事業です。
- プレーパーク**：子どもたちが自己責任のもと、自然の中で思いっきり遊び、自然の素材や道具などを使いながら、思いのままに自分たちで遊びを生み出し、いきいきと“子どもの時間”を過ごせる場です。

I 地域における子育て支援について

I - 1 子育て環境や子育て支援の現状についてお伺いします。

問1 あなたは、子育てを楽しんでいると感じることが多いですか。それとも辛いと感じることが多いですか。 (あてはまるもの1つに○)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他 ()
5. わからない

問2 子育てに関して日常悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 病気に関すること
2. 発育・発達に関すること
3. 食事や栄養に関すること
4. 育児の方法がよくわからないこと
5. しつけのし方がわからないこと
6. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
7. 子どもと触れあう時間を十分に取れないこと
8. 話し相手や相談相手がいないこと
9. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
10. 子どもの教育に関すること
11. 子どもの友達づきあい(いじめなどを含む)に関すること
12. 不登校などの問題について
13. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
14. 子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと
15. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等周囲の目が気になること
16. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
17. 子どもを叱りすぎているような気がする
18. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
19. 地域の子育て支援事業の内容や利用方法がよくわからないこと
20. 子どもと安心して遊びに行ける場が少ない
21. 子どもだけで安心して遊べる場が少ない
22. 子育て仲間と出会える場が少ない
23. 子どもの気持ちがくみ取れない、わからないこと
24. 子どもに対する性教育に関すること
25. その他 ()
26. 特に悩んでいることはない

問3 ご家庭では、あて名のお子さんを、どのようなときに叱りますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 危ないことをしているとき | 8. 言葉遣いが悪いとき |
| 2. 生き物をいじめたとき | 9. 公共の場で迷惑をかけるとき |
| 3. うそをついたとき | 10. 公共の場で迷惑をかけるとき |
| 4. 返事やあいさつをきちんとしないとき | 11. 指しゃぶりをしたとき |
| 5. 友達をたたいたり、意地悪をしたとき | 12. 排泄がきちんとできないとき |
| 6. 悪さやいたずらをしたとき | 13. その他 |
| 7. 後片付けをしないとき | () |

問9 あなたは日常生活において孤立感を感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 強く感じる
2. やや感じる
3. あまり感じない
4. 全く感じない
5. わからない

問10 問9で「1. 強く感じる」、「2. やや感じる」に○をつけた方にお伺いします。
孤立感を和らげるためにどんなことが地域で必要ですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

1. 家事・育児のサポート
2. 本音で子育てについて話ができる人
3. 相談できる専門家・経験者
4. 子育て以外で活動できる場
5. 同じ立場の親の会
6. 時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場
7. 保育付きの実習や勉強の場
8. 子育て仲間と気軽に集える場(屋内)
9. 地域全体で子育てへの理解を深めるような働きかけ
10. 地域全体で障がい児等への理解を深める働きかけ
11. その他()
12. 特に必要ない

問11 地域の人にちょっと頼まれた場合に、私にもできると思うことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ちょっとした買い物
2. 子育ての相談
3. 短時間の子どもの預かり
4. 保育所の送迎
5. 食事づくり
6. 宿題をみる
7. 話し相手
8. 近所のグループづくり
9. その他()
10. わからない
11. 特にない

Ⅱ 育成基盤づくりについて

Ⅱ - 1 あて名のお子さんの健康についてお伺いします。

問12 お子さんの朝食のとり方についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 毎日食べる
2. 週に5～6回食べる
3. 週に3～4回食べる
4. 週に1～2回しか食べない
5. ほとんど食べない

Ⅱ - 2 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてお伺いします。

問13 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)を伺います。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記載不要】 (あてはまるもの1つに○)

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまでに就労したことはない
- } ⇒ 問15へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労
 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(1) -1 問13(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。
 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間含む)」を()
 内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多い
 パターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入
 る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(1) -2 問13(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にお伺いします。
 家を出る時間と帰宅時間を()内にお答えください。時間が一定でない場合
 は、もっとも多いパターンでお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、
 休業に入る前の状況についてお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時

(2) 父親 **【母子家庭の場合は記載不要】** **【あてはまるもの1つに○】**

- | | |
|--|-----------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | } ⇒ 問15へ |
| <ul style="list-style-type: none"> 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | |
| <ul style="list-style-type: none"> 6. これまでに就労したことはない | |

→(2) -1 **問13 (2) で「1. ～4. 」(就労している) に○をつけた方にお伺いします。**
 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間含む)」を()
 内にお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多い
 パターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の
 状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(2) -2 **問13 (2) で「1. ～4. 」(就労している) に○をつけた方にお伺いします。**
 家を出る時間と帰宅時間を()内にお答えください。時間が一定でない場合
 は、もっとも多いパターンでお答えください。育休・介護休業中の方は、休業
 に入る前の状況についてお答えください。

(※時間は必ず24時間制でお答えください)

家を出る時間 () 時 帰宅時間 () 時
--

Ⅱ - 3 あて名のお子さんが病気の際の対応についてお伺いします。

問16 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. あった ⇒ 問17へ 2. なかった ⇒ 問20へ

問17 あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. 父親が休んだ	()日
	イ. 母親が休んだ	()日
	ウ. (同居者を含む)親族・知人に預けた	()日
	エ. 就労していない保護者がみた	()日
	オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	()日
	カ. ベビーシッターを頼んだ	()日
	キ. ファミリー・サポート・センターにお願いした	()日
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
	ケ. その他()	()日
2. なかった	⇒ 問20へ	

問18 問17で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にお伺いします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思われましたか。(1つだけ○)また、「1.」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日
2. 利用したいとは思わない

⇒ 問19へ

問19 問17で「ウ.～ケ.」のいずれかに○をつけた方にお伺いします。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(あてはまるもの1つに○)また、「1.」に○をつけた方は、日数も()内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ()日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	対処方法	1年間の日数
1. あった	ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを預かってもらう事業）	（ ）泊
	ウ. 上記「イ.」以外の保育事業（ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
	2. なかった	

問21 問20で「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にお伺いします。 ⇒「ア.」以外に○をつけた方は 問22へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまるもの1つに○）

- | |
|--|
| <p>1. 非常に困難</p> <p>2. どちらかという困難</p> <p>3. 特に困難ではない</p> |
|--|

Ⅱ - 4 仕事と子育ての両立支援についてお伺いします。

問22 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。A～Cすべてについて「はい」「いいえ」のどちらかに○をしてください。

事業の種類	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
1 ママ・パピラス（両親学級）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
2 家庭教育に関する学習講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
3 就学相談・就園相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
4 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
5 児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
6 ファミリー・サポート・センター （会員制による住民の一時預かりを中心とした相互援助活動）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
7 子ども家庭総合相談 （子ども家庭支援センター）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
8 子育てサークル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
9 子育てひろば事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
10 ひのっ子の子育て・子育て 「知っ得ハンドブック」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
11 子育て情報サイト 「ぼけっとなび」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
12 病児・病後児保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
13 ショートステイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
14 トワイライトステイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
15 一時保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
16 休日保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
17 夜間保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
18 認証保育所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
19 学童クラブ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
20 放課後子ども教室事業「ひのっ ち」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
21 プレーパーク	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

Ⅲ 放課後の過ごし方について

Ⅲ - 1 小学校の放課後の過ごし方についてお伺いします。

問23 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

なお、「1. ～7.」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）

1. 自宅	週	（ ）	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	（ ）	日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	（ ）	日くらい
4. 児童館	週	（ ）	日くらい
5. ファミリー・サポート・センター（利用料あり）	週	（ ）	日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週	（ ）	日くらい
7. 放課後子ども教室「ひのっち」	週	（ ）	日くらい
8. 学童クラブ（利用料あり） ※就労等の要件があります	週	（ ）	日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
9. プレーパーク	週	（ ）	日くらい

問24 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

なお、「1. ～7.」に○をつけた方は、それぞれ希望する週あたりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。

また、「8. 学童クラブ」に○をつけた方は、利用を希望する週あたりの日数と希望する時間を（ ）内に数字でご記入ください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）

1. 自宅	週	（ ）	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	（ ）	日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	（ ）	日くらい
4. 児童館	週	（ ）	日くらい
5. ファミリー・サポート・センター（利用料あり）	週	（ ）	日くらい
6. その他（公民館、公園など）	週	（ ）	日くらい
7. 放課後子ども教室「ひのっち」	週	（ ）	日くらい
8. 学童クラブ（利用料あり） ※就労等の要件があります	週	（ ）	日くらい ⇒下校時から（ ）時まで
9. プレーパーク	週	（ ）	日くらい

問25 問23または問24で「8. 学童クラブ」に○をつけた方にお伺いします。
あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。

（「(1) 土曜日」、「(2) 日曜日・祝日」それぞれあてはまるもの1つに○）

また、利用したい時間帯（何時から何時まで）を（ ）内に数字でお答えください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない		利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	--	--------------------------

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない		利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	--	--------------------------

問26 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。（あてはまるもの1つに○）

また、利用したい時間帯（何時から何時まで）を（ ）内に数字でお答えください。

（※時間は必ず24時間制でお答えください）

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用希望はない		利用したい時間帯 （ ）時から（ ）時まで
--	--	--------------------------

問27 普段どのような場所に遊びに行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 公園	6. 広場・空き地
2. スポーツ・文化施設	7. 川、用水路など自然に触れられる場所
3. 子育てひろば	8. 親族・友達の家
4. 児童館等の公共施設	9. その他（ ）
5. 民間デパート等	

問28 どのような遊び場が欲しいですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 遊具がある所	5. アトラクションがある所
2. 広い場所がある所	6. 自由に使える、無料の施設
3. 自然がある所	7. 文化的な施設
4. スポーツができる所	8. その他（ ）

IV ご家族の状況について

IV 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問29 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問30 あて名のお子さんから見て、この記入票を記入したのはどなたですか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 母親と父親 |
| 4. 祖父 | 5. 祖母 | 6. その他（ ） |

問31 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお伺いします。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問32 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 主に母親 | 2. 主に父親 | 3. 主に祖父母 | 4. その他（ ） |
|---------|---------|----------|-----------|

問33 あなたはどの小学校の学区にお住まいですか。(1つに○)

※該当する学校がわからない場合は、別添の表を参考にしてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 日野第一小学校 | 7. 潤徳小学校 | 13. 旭が丘小学校 |
| 2. 豊田小学校 | 8. 平山小学校 | 14. 東光寺小学校 |
| 3. 日野第三小学校 | 9. 日野第八小学校 | 15. 仲田小学校 |
| 4. 日野第四小学校 | 10. 滝合小学校 | 16. 夢が丘小学校 |
| 5. 日野第五小学校 | 11. 日野第七小学校 | 17. 七生緑小学校 |
| 6. 日野第六小学校 | 12. 南平小学校 | |

問34 あなたは、あて名のお子さんやきょうだいに対して、学校以外の教育(学習塾や習い事)に、1月当たりどのくらい費用を使っていますか。

()内に具体的な数字でお答えください。

あて名のお子さん	()円
あて名のお子さんを含む、子ども全員	()人 ()円

問35 あなたが1日にお子さんと接する平均的な時間を教えてください。

()内に具体的な数字でお答えください。

()時間

日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 【ご協力をお願い】

皆様には、日頃より日野市政にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

平成27年3月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

日野市では、子ども・子育て支援新制度開始に伴う事業計画として、子育てしたいまち しやすいまち日野を目指した「新！ひのっ子すくすくプラン（子ども・子育て支援事業計画）」（平成27～31年）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため、本調査を行います。

この調査は、子育て支援関連事業者・団体の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただきますので、個々の回答内容が他にもれたり、調査の目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年●月

日野市長 大坪 冬彦

【回答にあたってのお願い】

1. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びください。
2. ○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
また、その他をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. 設問によって、回答する方が限られている場合があります。ことわり書きに従ってください。
4. ご回答しにくい設問がありましたら回答せずに、次の設問に進んでいただいてもかまいません。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。**

提出（投函）期限：平成30年●月●日（●）

<お問合せ先>

日野市子ども部子育て課

電話 042-514-8579（直通）

042-585-1111（代表）

担当 眞砂（内線 2517）・木暮（内線 2512）

1 施設・グループの概要について

問1 貴施設・貴グループの活動内容の種類についてお答えください。

施設の名称

施設の所在地

施設の種類

問2 前問の「施設の種類」で「1. 保育園・保育所」または「2. 幼稚園」に○をつけた方に伺います。

認定こども園へ移行する考えはありますか。 (あてはまるもの1つに○)

問3 問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います。移行した類型はどれですか。 (あてはまるもの1つに○)

問4 問2で「1. すでに移行している」または「2. 今後移行する予定」に○をつけた方に伺います。新制度へ移行した理由をお聞かせください。 (あてはまるものすべてに○)

問7 日野市の子どもたちに、どのような子どもに育ててほしいと思いますか。

(主なもの3つまで○)

1. 思いやりがある
2. 協調性がある
3. 確かな学力がある
4. 他人を認められる
5. 心身がたくましい
6. 我慢強さがある
7. 自立心がある
8. 柔軟性がある
9. 創造性が豊か
10. 適切な判断力がある
11. 自己肯定感が高い
12. 他人に迷惑をかけない
13. 特にない
14. わからない
15. その他 ()

問8 現在、児童虐待が大きな問題となっています。虐待の原因は何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 核家族化の進行
2. 地域の間人関係の希薄化
3. 父親の長時間勤務による母親の孤立化
4. 育児体験の減少
5. 親が未熟で自分の感情を抑えられないから
6. 親が子ども以外のことでストレスにさらされている
7. 親の成育歴による世代間連鎖
8. 親自身が周りの人に存在を受け入れられていない
9. 人に迷惑をかけないことを親自身が過度に大事だと考えている
10. 経済的困窮
11. 親の疾病・障害・精神疾患
12. ひとり親
13. 配偶者（パートナー）からの暴力
14. その他 ()

問9 児童虐待を防止するにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的な育児相談機能の強化 2. 妊産婦・産前産後の検診等の母子保健事業の充実 3. 福祉、教育、保健、医療機関、NPO等民間機能、市民団体との連携強化 4. 学校、保育所、幼稚園施設等との連携と早期発見及び適切な対応の仕組みづくり 5. 学校、保育所、幼稚園施設等での教育と人材確保 6. 在宅支援の充実など育児負担の軽減 7. 母親の育児不安への早期対応、カウンセリング、治療の実施 8. 親子で行ける居場所づくり 9. 虐待通報の義務化、警察・児童相談所介入の強化 10. 虐待加害者の重罰化、治療の義務化 11. 子ども自身の自己決定能力習得のための教育 12. 一時保護所機能を持つ施設や里親の拡充 13. その他 ()

3 サービスの動向について（保育関連施設の方、該当される場合にお答えください。）

問10 今後の保育サービスの需要について、どのような見通しを持っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後、さらに増加すると思う 2. やや増加していくと思う 3. ほぼ、横ばいと思う 4. 需要は減少していくと思う 5. その他 () 6. わからない

問11 問10で答えた見通しの下で平日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

<ol style="list-style-type: none"> 1. 考えたい 2. 考えていない
--

②基本となる営業時間について

<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡大したい 2. 縮小したい 3. 現状維持でよい
--

③延長保育の拡大について

<ol style="list-style-type: none"> 1. 考えたい 2. 考えていない
--

④延長保育の時間の拡大について

<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡大したい 2. 縮小したい 3. 現状維持でよい
--

問12 土曜の保育サービスの定員・時間についてお答えください。

(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 考えたい | 2. 考えていない |
|---------|-----------|

②基本となる営業時間について

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 縮小したい | 3. 現状維持でよい |
|----------|----------|------------|

③延長保育の拡大について

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 考えたい | 2. 考えていない |
|---------|-----------|

④延長保育の時間の拡大について

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 縮小したい | 3. 現状維持でよい |
|----------|----------|------------|

問13 休日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。

(①～④項目それぞれ1つだけ○)

①基本定員の拡大について

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 考えたい | 2. 考えていない |
|---------|-----------|

②基本となる営業時間について

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 縮小したい | 3. 現状維持でよい |
|----------|----------|------------|

③延長保育の拡大について

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 考えたい | 2. 考えていない |
|---------|-----------|

④延長保育の時間の拡大について

- | | | |
|----------|----------|------------|
| 1. 拡大したい | 2. 縮小したい | 3. 現状維持でよい |
|----------|----------|------------|

問14 入所・利用定員を増やす場合、障害となる要素をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 職員の増員が追いつかない
2. 施設の規模をこれ以上拡大できない
3. 施設を増築する資金がない
4. 少子化が進んでおり、今後が不安
5. 連携している施設の協力を得られない
6. 情報が十分でなく本当に需要があるかどうか不安
7. 定員増を行なうと経営を圧迫する
8. 職員の人達との話し合いがうまくいきそうにない
9. 保育の質が落ちることが懸念される
10. 職員の長時間労働をこれ以上進められないため
11. その他 ()

上記障害について必要と思う支援は何だと思えますか。

問15 今後実施を検討している事業があれば選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 病児・病後児保育事業 | 8. 延長保育事業 |
| 2. 子育て短期支援事業（ショートステイ事業） | 9. 休日保育事業 |
| 3. 子育て短期支援事業（トワイライト事業） | 10. 夜間保育事業 |
| 4. 放課後児童健全育成事業 | 11. 産後支援ヘルパー事業 |
| 5. 一時保育事業 | 12. 訪問型一時保育事業 |
| 6. 子育てひろば事業 | 13. 認証保育所 |
| 7. 通常保育事業 | 14. その他 () |

4 子育て支援活動について

問16 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方々が子育てをするにあたって地域に求めている事はどんな事だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育ての相談や情報交換をしたい
2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
3. 遊びの相手やスポーツと一緒にしてほしい
4. 子ども会やお祭りなど子どもが参加できる活動や行事
5. 緊急時に子どもを預かってほしい
6. 地域で子どもを見守り育てるという気持ちをもってほしい
7. とともに子育てできるグループやサークルなどがほしい
8. 子どもが自由にのびのびと遊べる場所がほしい
9. その他 ()
10. 特に求めている事はない

問17 最近の子育て中の家庭について、あてはまると思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもに対して、過保護、甘やかせ過ぎである
2. 子どもに対して、過干渉である
3. テレビ、映画、雑誌、インターネット等が子どもに悪い影響を及ぼしている
4. 家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている
5. 家庭での子育て、しつけや教育に無関心な親が増えている
6. 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を依存しすぎている
7. 父親の存在感が希薄化している
8. 家庭での子育て、しつけや教育に自信を持てず不安に思う親が増えている
9. 子どもが親以外の大人（祖父母、近所の人）とふれあう機会が低下している
10. 家庭での子育て、しつけや教育について明確な方針を持たない親が増えている
11. 親子がふれあい、ともに行動する機会が不足している
12. 家族一人ひとりが個人主義化（家族が多様化）している
13. 子どもにいろいろな体験をさせる機会が不足している
14. 子育て、しつけや教育についての相談相手（祖父母等）が不足している
15. 親に対する子どもの信頼感が低下している
16. 親自身の日常生活にゆとりがない
17. 子どもが兄弟・姉妹、友人等の中で互いに励まし競い合わせる機会が不足している
18. 子どもが、働く親の姿を知る機会が不足している
19. 親になるまで、小さな子どもと接する機会が減っている
20. 親も子どもも安心して放課後や休日に過ごせる場が地域に減少している
21. いろいろな悩みながらも、がんばって子育てをしている
22. その他 ()

日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【ご協力のお願ひ】

皆様には、日頃より日野市政にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

平成27年3月に「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」に基づく子ども・子育て支援新制度がスタートしました。

日野市では、子ども・子育て支援新制度開始に伴う事業計画として、子育てしたいまち しやすいまち日野を目指した「新！ひのっ子すくすくプラン（子ども・子育て支援事業計画）」（平成27～31年）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するため、本調査を行います。

ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくものであり、個々の回答内容が他にもれたり、調査の目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、今回の調査において貴社（事業所）の仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）の実態等を把握し、今後の取り組みにつなげていきたいと考えております。ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年●月

日野市長 大坪 冬彦

【回答にあたってのお願い】

1. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びください。
2. ○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
また、その他をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
3. 設問によって、回答する方が限られている場合があります。ことわり書きに従ってください。
4. ご回答しにくい設問がありましたら回答せずに、次の設問に進んでいただいてもかまいません。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、**同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストにご投函ください。**

提出（投函）期限：平成30年●月●日（●）

<お問合せ先>

日野市子ども部子育て課

電話 042-514-8579（直通）

042-585-1111（代表）

担当 眞砂（内線2517）・木暮（内線2512）

1 事業所の概要について

問1 事業所についてお答えください。

① 貴事業所名称

②所在地

問2 日野市で業務を始めてから何年経っていますか。 **(あてはまるもの1つに○)**

1. 1年未満	4. 10年以上 20年未満
2. 1年以上5年未満	5. 20年以上 50年未満
3. 5年以上 10年未満	6. 50年以上

問3 現在、社員（職員）の人数はどのくらいいますか。 **(あてはまるもの1つに○)**

1. 50人未満	5. 200人以上 250人未満
2. 50人以上 100人未満	6. 250人以上 300人未満
3. 100人以上 150人未満	7. 300人以上
4. 150人以上 200人未満	

2 子育ての実態・必要な対策について

問4 仕事と子育てを両立（ワークライフバランス）させる上で障害となっていると感じることは何ですか。 **(貴事業所の社員（職員）について、3つまで○をつけてください。)**

1. 当日急に残業が入ってしまうことが多い	
2. 子どもが急に病気になったときに代わりに面倒を見てくれる人がいない	
3. 働くことについて、配偶者、家族の理解が得られない	
4. 子育てをしながら働く事について職場の理解が得られない	
5. 保育園等への入園が難しい	
6. 有給休暇が取りづらい	
7. その他（	）

問5 今後、仕事と子育ての両立（ワークライフバランス）が可能な環境を整備・充実していく上で何が最も重要と考えますか。 （あてはまるもの3つまで○）

1. 労働時間の短縮 2. 育児休業などの制度拡大と取得促進 3. 子どもの看護休暇制度の義務化と取得促進 4. 男性の育児参加の促進 5. 男性は仕事、女性は家庭というような意識の解消 6. 病後時保育、延長保育、駅前保育所の設置等の充実 7. 幼稚園における預かり保育の充実 8. 事業所内保育施設の充実 9. 在宅勤務やワークシェアリングの推進 10. 男性を含めた働き方の見直し 11. 子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す 12. 有給休暇の取得促進 13. その他（)
--	---

問6 仕事と家庭（育児）の両立しやすい環境を整えることは貴社（事業所）にとってメリットがあると思いますか。 （あてはまるもの1つに○）

1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
-------	---------	--------------

問7 子育て世代が働きやすい職場作りの実態や今後の意向についてお聞きします。

①現在取り組んでいること （あてはまるものすべてに○）

1. 妊娠中及び出産後の配慮 2. 子どもの出生、産前産後休業後に関する父親の休暇取得の促進 3. 育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備 4. 短時間勤務制度の実施 5. 事業所内託児施設の設置運営 6. 子育てサービス費用の援助、子どもの病気時の休暇取得制度 7. 子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す 8. 有給休暇の取得促進 9. 育児休業制度、育児のための短時間勤務制度等の制度についての周知 10. ノー残業デーの実施 11. その他（)
12. 特に取り組んでいない	

②今後取り組みたいと思っていること (あてはまるものすべてに○)

1. 妊娠中及び出産後の配慮
2. 子どもの出生、産前産後休業後に関する父親の休暇取得の促進
3. 育児休業の取得、職場復帰のしやすい環境整備
4. 短時間勤務制度の実施
5. 事業所内託児施設の設置運営
6. 子育てサービス費用の援助、子どもの病気時の休暇取得制度
7. 子育て期に多様・柔軟な働き方が選択できるよう制度等を見直す
8. 有給休暇の取得促進
9. 育児休業制度、育児のための短時間勤務制度等の制度についての周知
10. ノー残業デーの実施
11. その他 ()
12. 特に取り組むつもりはない

問8 子どもたちの育ちを支援するために企業としてどのような協力ができるとお考えですか。

①現在、子どもの体験活動や就労体験など具体的な支援を行なっていますか。

(あてはまるものに○)

1. 行っている(具体的内容:)
2. 行っていない

②今後、取り組む可能性があると思われる内容はどのようなものですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1. インターンシップや中学生等の職場体験、事業所見学 | 5. 学生との共同仕事体験 |
| 2. 子ども向けの業務PR誌づくり | 6. 地域活動のサポート |
| 3. 学校への職員(社員)派遣 | 7. その他 |
| 4. 子どもと業務について話し合う | () |

問9 次世代育成支援対策推進法と一般事業主行動計画についてお聞きします。

(①～③項目それぞれ1つだけ○)

※一般事業主行動計画(以下「行動計画」とは、次世代育成支援対策推進法(以下「次世代法」)に基づき、企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などに取り組むに当たって、(1)計画期間、(2)目標、(3)目標達成のための対策及びその実施時期を定めるものです。

従業員101人以上の企業には、行動計画の策定・届出、公表・周知が義務付けられています。

問1 あなたは、放課後や休日は誰と過ごしていますか。また誰と過ごしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

【過ごしている人】	【過ごしたい人】
1. 家族	1. 家族
2. 祖父母や知り合いの人	2. 祖父母や知り合いの人
2. 学校の友だち	2. 学校の友だち
3. 塾など習い事の友だち	3. 塾など習い事の友だち
4. クラブ活動などの仲間	4. クラブ活動などの仲間
5. その他 ()	5. その他 ()

問2 あなたは、放課後や休日はどこで過ごしていますか。またどこで過ごしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

【過ごしている場所】	【過ごしたい場所】
1. 自分の家	1. 自分の家
2. 祖父母や知り合いの人の家	2. 祖父母や知り合いの人の家
3. 友だちの家	3. 友だちの家
4. 塾など習い事	4. 塾など習い事
5. スポーツなどクラブチーム	5. スポーツなどクラブチーム
6. 児童館	6. 児童館
7. ファミリー・サポート・センター	7. ファミリー・サポート・センター
8. 公園	8. 公園
9. 川、用水路など	9. 川、用水路など
10. 公民館、図書館など市の施設	10. 公民館、図書館など市の施設
11. 放課後子ども教室「ひのっち」	11. 放課後子ども教室「ひのっち」
12. 学童クラブ	12. 学童クラブ
13. プレーパーク	13. プレーパーク
14. その他 ()	14. その他 ()

問3 あなたは、平日、休日は何時間くらい遊んでいますか。

() 内に数字でご記入ください。

平日 () 時間
休日 () 時間

問4 あなたは、平日、休日は何時間くらい宿題や習い事をしてしていますか。

() 内に数字でご記入ください。

平日 () 時間
休日 () 時間

問5 あなたの、友だちとの付き合い方の満足度を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問6 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 非常に思う	2. 思う	3. 少し思う	4. 思わない
----------	-------	---------	---------

問7 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 親	6. カウンセラー・精神科医
2. きょうだい	7. 児童館や学童クラブの人
3. 友人・知人	8. ネット上の知り合い
4. 祖父母	9. その他 ()
5. 学校の先生	10. 誰にも相談しない

問8 あなたが、現在の悩んでいることや不安に思っているものがあれば、次の中から選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. 勉強のこと	4. 友だちのこと
2. 学校のこと	5. 家族のこと
3. 進路のこと	6. その他 ()

問9 あなたは、学校に行くのが嫌になることがありますか。またその理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

1. ある	⇒ 問10へ
2. ない	

問10 問9で「1. ある」に○をつけた方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 授業がわからない	8. 委員会や係活動
2. 勉強したくない	9. クラブ活動
3. 友だちとうまくいかない	10. 自由がない
4. いじめられている	11. 理由はよくわからないけど行きたくない時がある
5. 先生が悩みや意見を聞いてくれない	12. その他
6. 給食	
7. 学校の決まりごと(校則)がきびしい	()

問11 あなたは、普段の生活の中で、楽しいな、面白いな、と思う時はどんな時ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 友達と遊んでいる時	5. 学校にいる時
2. 一人で遊んでいる時	6. 勉強をしている時
3. 家族、きょうだいと過ごしている時	7. その他
4. 習い事をしている時	()

問12 あなたは、どんなあそび場が欲しいですか。ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
調査票は、学校の指示に従って提出してください。